



第49年度
第2077回例会 （2024年 9月 30日）
例会プログラム

ガバナー公式訪問

◎出席（会員数30名）
（出席規定免除会員 江島 井手 田代）
出席 … 23名
欠席 … 4名（植田 山岡 友田 山崎）
メーキャップ（IAC 指導者講習会 末松 坂本）
◎出席率 … 85.1%
◎ロータリーソング 2700のマーチ
◎4つのテスト 佐野 君
◎ビジター 第2700地区ガバナー 野崎 千尋 君
第3グループガバナー補佐 金子 正人 君
地区副幹事 松本 浩 君
地区副幹事 高野 清隆 君
直方ロータリークラブ 関屋 正彦 君

会長の時間

8回目の会長の時間です。宜しくお願い致します。
今日は公式訪問となっています。
国際ロータリークラブ第2700地区野崎ガバナー・松本浩・高野 清隆両地区副幹事・そして第3グループ金子ガバナー補佐、本日はようこそいらっしゃいました。
当直方中央ロータリークラブ、全会員で歓迎を致します。
最後まで宜しくお願い申し上げます。
今週末10月5日はロータリー奉仕デーとなっています。
この後中山将太社会奉仕委員長から詳細の説明があると思いますが、金子ガバナー補佐、そして大塚市長にも御出席戴き、まず安全祈願を行い、駅周辺の清掃奉仕とポリオ撲滅の為に募金活動を行います。
御協力の程、宜しくお願い致します。

2週間お休みの間に、様々な事がありました。福岡ソフトバンクホークスの優勝、読売ジャイアンツの優勝、立憲民主党の代表選挙・自由民主党の総裁選挙などなど……。毅然・楽しく・美しい国家を運営戴きたいと思います。
そして22日には、大相撲で二所ノ関部屋所属の大の里関が優勝し、大関に昇進しました。
凄いですねー。

今日は大相撲のお話をさせて戴きます。
相撲と神事は密接な関係があります。各場所の初日の前日に「土俵祭」が必ず執り行われます。
相撲の最初は『古事記』の中にある建御雷神と建御名方神の闘いで、国譲りに力比べ、相撲を行ったとあります。

また大相撲の起源は、相撲節会。
相撲節会とは、奈良・平安時代にかけて行われた宮中の年中行事です。
9月9日の会長の時間でお話をした、五節句の中の一つ、7月7日に行われる、七夕の節句に相撲を取り、その年の収穫を占ったり、祈願したり、また感謝をしたとされます。

宮中で相撲が行われた最古の記録は、720年に完成した「日本書紀」垂仁天皇の段に、垂仁天皇7年（紀元前23年）7月7日に、無敵を誇っていた大和の當麻蹶速に対し、垂仁天皇が出雲の野見宿祢を召し出して取り組ませ、結果は野見宿祢が勝ち、その所領を下賜されたと記されています。この闘いは相撲史における最初の話となっています。また、野見宿祢は相撲の神として祀られる様になりました。
また記紀には皇極天皇元年（642年）7月に健甕に命じて相撲を取らせた記述もあります。相撲節会と考えられる天覧相撲の初例は、聖武天皇の天平6年7月7日（734年）です。当初は宮中警備兵の選抜を兼ね開催されました。

その後盛んに行われましたが、11世紀半ばに御所で火災が相次ぎ、相撲節会の儀式的簡素化、縮小化が始まり承安4年（1174年）が宮中行事としての相撲節会の最後となりました。

その後は各地の神社における神事相撲、武士の鍛錬としての武家相撲、さらに今日に続く民間の勧進相撲へと受け継がれていきます。

15世紀の応仁の乱後に都は荒廃し相撲人が地方に下ることにより相撲の文化が広がった様です。従来の相撲は、武士が日頃の鍛錬の一環として行う「武家相撲」が主流でしたが、相撲人の都落ちによって新たに、地方での民衆を基盤とする「土地相撲」が盛んになりました。
主な所は秋田、南部、津軽、仙台、江戸、尾張、紀伊、京、大坂、讃岐、播磨、因幡、長崎、肥後、薩摩等で、特に江戸、京都、大坂の三都相撲が盛んで全国各地で勧進相撲が開催されました。

しかし慶安年間には浪人、侠客が出入りして始終喧嘩が絶えない状態が続いた為、各地での勧進相撲は禁止されました。

寛保2年（1742年）に再び勧進興行が解禁され、春は江戸、夏は京、秋は大坂、冬は江戸で「四季勧進相撲」を実施するという体制が確立します。

その後、相撲は江戸と大坂にまとまって行き、大正14年（1925年）、東京相撲が大阪相撲を吸収合併する事により勧進相撲の組織は日本相撲協会に一元化され、現在の大相撲が誕生しました。

明治中期までは大関が力士の最高位でした。江戸時代には大関に適した者がいない場合等は「看板大関」と言って「ただ大きくて見栄えがする」と言うだけの理由で名前だけの大関にしたケースが多く、96代までで実に66代が看板大関です。大きい関取で大関ですね。

それ以降は実力によって大関に昇進したと考えられます。234代は直方出身、現浅香山親方の魁皇です。大の里が256人目の大関。

初代大関は雪見山鉄右工門（生没年不詳）。肥前田代（現・佐賀県鳥栖市田代町）の出身です。体重は37貫（139kg）あり、大型の力士で、当初は響野と名乗り、肥後の竹嶋甚四郎の門弟でした。後に雪見山と改め、熊本藩の大名お抱え力士となります。師匠の竹嶋甚四郎は力士ではなく、行司さんです。現在の行司は木村姓と式守姓しか残っていませんが、江戸時代には様々な姓の行司が存在し、「竹嶋」は主に九州・肥後地方で活躍した行司家の姓です。剛力で、右を差せば無敵であったと伝えられ、江戸には宝暦7年（1757年）10月に東大関として番付に登録されています。

引退は安永6年（1776）4月場所です。
当クラブの田代恵祐社長が後援会会長を務め、小生も後援会に入っている若隆景を応援していますが、日本の国技である「大相撲」に早く日本人横綱が誕生してくれる事を願っています。

第82代 後鳥羽天皇の御製を紹介致します。

天の原 雲吹きはらふ あきかぜに
山の端たくく 出づるつきかな

野崎ガバナーをはじめ「皆様方の御多幸をお祈りし」
会長の時間を終わります。
有難うございました。

幹事報告・安永君

- 1・RLⅠ研修会受講修了者向け研修会（卒後コース）のご案内（11月2日（土））
- 2・米山記念奨学会 奨学生研修旅行開催お知らせと旅行費補助のお願い
- 3・東京ピースウィングREC10周年記念式典ビデオダイジェスト及びメークアップについてのご案内
- 4・会員基盤向上委員会からのお知らせ【ガバナー特別表彰進捗状況表、オープン例会実施報告書様式の送付】
- 5・ハイライトよねやま 294
- 6・ロータリー財団より PHS・PPS 入会のご案内
- 7・国際奉仕委員会グループ別会議のご案内 10月19日（土）18時～（於：樹）
- 8・2023-2024年度 地区財務報告
- 9・鷹取学園 学園祭のご案内 10月19日（土）10時～
- 10・2024年8月末米山寄付実績報告
- 11・米山記念奨学会より豆辞典が届いております。
- 12・第77回筑豊美術協展開催及び授賞式についてのお知らせ
- 13・10月定例オリエンテーション及び2023-2024年度派遣学生帰国報告会・修了証書授与式のご案内

次回例会 10月7日（月）通常例会



ガバナー公式訪問 2024・9・30

国際ロータリー第2700地区

ガバナー 野崎 千尋 君

ガバナー補佐 金子 正人 君

地区副幹事 松本 浩 君

高野 清隆 君